

15 森林環境教育を実施し下呂の森をはぐくむ人材を育成 【人材育成・担い手確保】

〈事業の経緯〉

現代社会では、人々が日常生活の中で森林や林業に接する機会が少なくなっている。このため森林内での様々な体験活動等を通じて森林と人々の生活や環境との関係についての理解を深める「森林環境教育」の取り組みが注目されている。

〈事業の目的・効果〉

森林環境に関する学習支援や森にふれる機会を創出することで、森林をより身近に感じ、気づきや学び・生きる力をはぐくみ、持続可能な社会づくりに貢献できる人材育成をサポートする。

■事業内容

「下呂の森をはぐくむ人づくり事業」

森林分野と教育分野の両方の視野を合わせもった森林環境学習の支援や、森や木や自然にふれる体験活動の支援を行う。

①こども園

対象：市内こども園6園

実施内容：森林での保育活動、園内での木育活動などの支援

②小中学校

対象：市内小学校9校 中学校6校

実施内容：森林環境学習メニューの相談、提案、座学や体験学習の支援

③高等学校

対象：益田清風高校

実施内容：市内の森林の特徴や森林を活用した産業を学ぶ座学や、実際の林業を知る実習の支援

④指導者研修

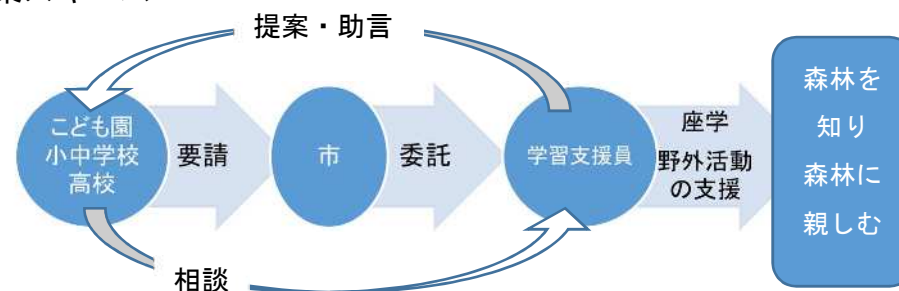
対象：市内小中学校教員、市内こども園の保育士

実施内容：森林環境学習の講座、現地活動によるリスクマネジメント研修

■令和6年度予算

2,459千円（内譲与税 2,300千円）

■事業スキーム



■下呂市森林づくり基本計画

IV 22. 木育・森林環境教育（ぎふ木育）について

■実施イメージ

森林内の生態を知る（こども園）

市内の森林の特徴や林業を学ぶ（高校）

